



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp



見送り演奏をする
日音協とうたの仲間たち

さようなら原発集会に1500人

3月27日、福島原発事故10年さようなら原発首都圏集会在、東京都千代田区の日比谷公園大音楽堂で開催され、1500人が事故の風化に抗し、「さようなら原発」の声をあげました。

集会は13時に福島市出身のシンガーソングライター片平里菜さんのオープニング・ライブで開会。13時30分から、呼びかけ人の鎌田慧さん、澤地久枝さん、落合恵子さん、福島原発刑事告訴団の地脇美和さん、原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟の吉原毅さん、東海第二原発運

転差止訴訟原告団の大石光伸さんがスピーチ。日本原電東海第二原発の運転差し止めを命じた18日の水戸地裁判決が報告されると大きな拍手が湧きました。

集会終了後、日音協とうたの仲間たちの16人は、「原子力発電NO!」「フクシマをくり返すな」「あたりまえの地球」「風車の唄」「私たちは許さない」「真実は沈まない」「ウィー・シャル・オーバーカム」をうたってデモ行進に出発する参加者を激励しました。

(松本敏之)



片平里菜さん

今日、ここにお集まりいただいている皆さんは、きっと何か良くしたいと思っ集まっているのかなと、勝手ながら思っております。

ありがとうございました。

(終曲の前のひとこと)

東京電力福島原発事故から10年 私たちは忘れない！そして歌い続ける！

WEB コンサート (2面~4面で紹介)

- 1.日音協福島県支部
- 2.VJkin (日音協福島県支部)
- 3.いわき雑魚塾
- 4.ヤーマン
- 5.湖春
- 6.No Nukes Singers
- 7.阪大ニグロ
- 8.T.Ishino
- 9.中川五郎
- 10.島キクジロウ & NO NUKES RIGHTS
- 11.野村昌毅
- 12.ノブのブ
- 13.Milk [弥勒]
- 14.橋本美香 & 制服向上委員会
- 15.制服向上委員会
- 16.なりそう
- 17.いなのとひら・のとこば
- 18.THE STAND-UP
- 19.小室等・こむろゆい
- 20.デカ長
- 21.浦邊 力
- 22.なつお meets 南風
- 23.ジョニーH
- 24.志万田さをり
- 25.蓮沼ラビィ
- 26.和田名保子
- 27.穴戸一賀
- 28.紅次郎
- 29.大熊啓
- 30.ALLISON OPAON
- 31.ザ・リバーサイドグラス with 熊谷均 (日音協秋田県支部)
- 32.スマイリー松本と愉快的仲間たち
- 33.松本敏之 (日音協茨城県支部)
- 34.日本音楽協議会富山県支部
- 35.赤い疑惑

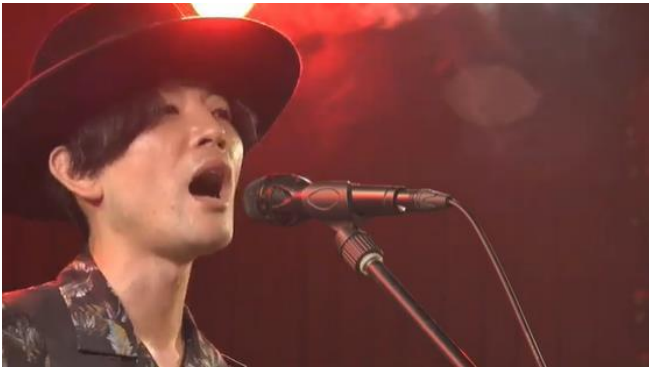
原発事故の風化を許さない WEB音楽イベント



1 日音協福島県支部



3 いわき雑魚塾



4 やーまん



5 湖春



9 中川五郎



10 島キクジロウ&NO NUKES RIGHTS



11 野村昌毅



12 ノブのブ



14 橋本美香&制服向上委員会



16 なりそう

ネット上での共演 ありがとうございます



17 いなのとひら・のどこば



18 THE STAND-UP



19 小室等・こむろゆい



20 テカ長



21 浦邊力



22 なつお meets 南風



23 ジョニーH



24 志万田さをり



25 蓮沼ラビィ



26 和田名保子

さようなら原発 3・6富山集会



「原発事故から10年… 福島を忘れない！ さようなら原発 3.6 富山集会」が、3月6日（土）富山市の「ボルファートとやま」において開催されました。

主催は県平和運動センターなど原発再稼働に反対する市民団体で構成する実行委員会で170人が参加しました。

開会に先立ち日音協県支部が、反原発の歌を歌って紹介しました。

演奏の動画は、「You Tube」で公開中です。（日音協 HP からご覧ください。）（富山・磯野友一）



27 穴戸一賀



28 紅次郎



29 大熊啓



32 スマイリー松本と愉快的仲間たち（日音協茨城県支部）



30 ALLISON OPAON (アリソン オパオン)



35 赤い疑惑



31 ザ・リバーサイドグラス with 熊谷均（日音協秋田県支部）

編集上の不備については、ご容赦願います。スキル不足、ツール不備、スイマセン。（編集部）

ぼくら生きているこの地球に原子力発電は必要ないのさ

「ぼくら生きている この地球に 原子力発電は 必要ないのさ」

国会議事堂の南、首相官邸に向かう「茱萸(ぐみ)坂」の入り口で毎週金曜日の夜、「脱原発」を仲間と伸びやかな声で響かせる。勤労者の音楽団体「日本音楽協議会」としての活動は二〇一二年九月に始まり、今年三月で約四百十回を超えた。

レパートリーは百曲以上。童謡を替え歌にしたものもあれば、仲間が一から作詞作曲したりオリジナル曲も。仲間が作った歌を自らが脱原発の歌詞にアレンジしたのも数曲ある。

原発の歌を初めて披露したのは、東京電力福島第一原発事故から半年後の一一年九月。東京・明治公園で開かれた「さよなら原発五万人集会」でのデモ行進だ。自分たちの歌を、参加者が口ずさむ姿を見た時「歌



保育士として、母親として「原発のない未来を子どもたちに残したい」という思いを胸に歌う坂口美日さん=千代田区で

(3/29の東京新聞に掲載された記事です)

で思いを共有できる」と感じた。だからこそ、自分の作る歌詞は、誰もが口ずさめる言葉を慎重に選ぶ。「事故でふるさとを失わなければ、ここまで一生懸命にならなかつた」

福島県葛尾村出身。二十一歳で故郷を離れ、保育士として東京で働いていたが、毎夏、家族とともに帰省するのが何よりも楽しみだった。

実家は原発から三十キロ圏内にあり、震災直後、両親は東京に避難。村全域が避難区域になった。二年三月月ぶりに帰省すると、庭の草が生い茂り、自宅内部は地震でぐちゃぐちゃのまま。道端には黒いフレコンバッグがびっしりと置かれていた。

「家の周りがやたらと静かで虫の声は大きく聞こえ、道端に咲く花が通常よりきれいに見えた。こんなに自然が美しいのに故郷に帰れないのは信じられな

かつた」。迷った末、一九年三月、自宅を取り壊した。

事故から十年。故郷をなくした喪失感などを、自分の中で二曲の歌にした。けれど未発表のまま。ただのお涙ちょうだいにしたくないけど、どうしても感情的になってしまふ。自分がまだこの問題に整理がついていないから。事故は終わっていない。いまだ、政府が原発を「ベースロード電源」と位置付けることに怒りを感じている。

新型コロナウィルスの感染拡大の影響で、外で歌う回数は減った。代わりに、仲間やミュージシャンから脱原発をテーマにした動画を集め、オンラインで公開するなど工夫している。「私はこれからも歌い続ける。原発がひとつも動かなくなるまで」

(山下葉月)

へさかぐち・みか 1960年7月生まれ。武蔵野市に避難していた父、小島力さんが、故郷を思った詩集「わが涙滂々」の出版を機に、葛尾村など現地視察するツアーを開催。現在も同市内の「フクシマを思う実行委員会」との共同主催で継続している。ギターやフルートの演奏も。

※東京新聞地方版(ひとゆめみらい)勤労者の音楽団体で副会長を務める 坂口美日(みか)さん(60) 千葉県区で紹介されました。

(編集部)

茱萸坂 お見送りの歌

詞・曲 wine

Voice

原 ぼ つ や る と 声 か ら し 毎 週 毎 週 ご っ ろ う さ ん
 き よ う も 全 こ い は 各 地 方 毎 お く は る ば る あり が と う
 皆 さ ん こ い は 各 地 方 皆 さ ん さ な ら ま た 来 週

5

Vo.

ふ し ま か え せ と 声 か ら し (は る) の タ ベ を お つ か れ さ ん
 来 し 週 ま 金 曜 と 又 ま こ ろ で 原 る) の タ ベ を お つ か れ さ ん
 皆 さ ん こ い は 各 地 方 皆 さ ん さ な ら ま た 来 週

【6面に関連記事】

()内は季節の言葉

歌の力が物語るもの 95

官邸前反原発行動 3/26 (4/12回) 報告 R i c o

【参加者】ウメちゃん 千代美 達哉 R i c o 計4名

今日は反原連(首都圏反原発連合)の主催する金曜行動の最後の日だ。このところずっと、感染防止として一般参加は呼びかけていなかったが、最終日の今日は違う。官邸前には多くの人が集まり、地下鉄出口まで長い列ができていた。

「たまりませの地球」から始める。今日は他のエリアの参加者も多い。正門前エリアに向かう人と、会釈を交わしながら歌う。

長島さんが到着。曲集のファイルを持ってきていて、歌詞の先読みをしてくれた。『フクシマをくり返すな』『あなたに届け』『風車の唄』『子どもらの明日のために』。

所用があり、遅れて茱萸坂に到着。ウメちゃんがひとりで歌っていた。JALの抗議集会に参加してきて、ほんの数分前に来たのだという。「だから歌詞カード持ってきていなくて、頭の中にある曲だけ歌ってたんだ。」と笑って言った。

聖火リレーが昨日、福島の子ウイレッジから始まった。同じ日のニュースで福島原発の原子炉格納容器の上蓋に、4京ベクレルの放射性物質が見つかったとあった。「京」ってどのくらいなのか、見当もつかない。オンラインブックを利用してどんなに綺麗に飾ろうとしても、

現実にはあぶりだされてくる。聖火リレーと言えは、相模原市はやまゆり園で採火するつもりらしい。ひとの痛みをことごとく利用するおぞましき。みんな、その醜態に気づかないのだろうか。

車椅子の女性が通りかかった。帽子に大きく「反原発」と書いたブラカードを巻き付けて主張している。隣に停まって少しの間、歌を聴いていってくれた。思えば反原発うたいたいもこつやって増えていったのだ。電飾でデコレーションした車椅子の男性もいた。この時間、車椅子で出かけるのはとても大変なことだ。2曲ほど聴いて、彼女は場を離れた。「私たち、4月以降もここで歌っていますので、また立ち寄ってください。」と言って見送った。

『双葉の秋』『原子力発電NO!』。帰路につく人たちも見受けられた。19時半を過ぎている。『お見送りの歌』にしよう。

水道橋だより

▼私たちはわすれない!そして歌い続ける(動画編集裏話)▼締め切りの3月7日(日)の日付が変わってからも送られてくる応募動画が後を絶たない。「予想はしていたがここまでとは…。でも日音協の仲間他にも、平和のこと・脱原発を願い歌い続けてきたミュージシャンがこんなにいたんだ!」と、うれしい悲鳴をあげつつも、仕事をしながらの私の編集作業は、当然平日の夜。11日14時50分公開までの私の平均睡眠時間は片手で足りる結果となった。▼しかし、たった3週間足らずで、再生リスト再生回数は、1574回を超えた。しかも、そのトップは日音協福島県支部の動画だ。苦労も吹き飛ぶ。(坂口美日)

▼新型コロナとかけて/つまらない試合とときます。/そのココロは/カンセンしたくありません。(飯島)
▼いよいよ毎日が日曜日の生活が始まります。65(歳)の手習いという事で、嵯峨バンマスのギターをお手頃価格で譲り受け、早く人前で演奏できるように日々努力したいと思っています。身の回りを片付けながらなかなかヒマにはなりません。(佐藤)

※4面に楽譜を掲載しました。3番の後に We shall overcome と、つなげて演奏したりもします。

みなさん今宵は「苦労さん」
みなさん今宵は「苦労さん」
みなさん今宵は「苦労さん」
みなさん今宵は「苦労さん」
みなさん今宵は「苦労さん」
みなさん今宵は「苦労さん」
みなさん今宵は「苦労さん」
みなさん今宵は「苦労さん」
みなさん今宵は「苦労さん」
みなさん今宵は「苦労さん」

1 原発ヤメロと声(か)らし
毎週毎週「苦労さん」
福島返せと声(か)らし
春の夕べをおつかれさん
W i n e
2 今日も全国各地から
遠くはるばる ありがとう
来週金曜またここで
原発ヤメロと叫びましょう

『茱萸坂・お見送りの歌』
官邸前では反原連の熱い声はまだ続いていたが、私たちは気分よくなく、また来週を約束して撤収した。うたいたいの行動は、まだまだ続く。

う。歌詞に「みなさん元気でまた来週!」とあるこの歌が、今日は特に意味深い。反原連の呼びかけの金曜行動は今日で終わる。反原連の時いた種は国会周辺のおちこちで、多様な抗議行動として芽吹いた。既に終了したエリアもあり、あとから生まれたエリアもある。ありがとう、反原連。

どん行

(141) 飯島貞親

▼新型コロナウィルス対策をはじめ、菅首相のやり方が「後手に回る」との批判を浴びている。▼私たちは子ども頃から「後手に回る」訓練をずっと受け続けてきた。「教師の出した問いに正解する」という学校教育は子どもたちに制度的に強いている。教師の出す問いに正解すれば報酬があり誤答すると処罰されるという事に慣れた子どもたちは「構造的に後手に回る人間」へと成長する。それは会社に入った後も変わらない。仕事を、すべて上司から出された課題に適切な回答をなすという形式でなされるものだと思いついて「後手に回る」人になる。▼なぜ日本社会は、これほど念入りに「後手に回る」訓練を国民に強いるのか? 権力者の狙いに心理的抵抗を感じない人間を育てるためとしか考えられない。「問いを出す上位者」と「答えを求められる下位者」の権力関係が再生産されていることに気がついていて人はどの位いるだろうか。▼国のリーダーに求められることは状況の先手を取ることだ。専門家の意見を素直に咀嚼(そしゃく)して適切な感染症対策を講じて、有能な官僚が「起きてなくてもいい問題」を起こさなくすることではないか。このことに気がつかない限り、これからも菅首相は後手に回り続けることになるだろう。